

『女性の視点から避難所を考えませんか?』第5回 会議録

- ◆開催日 平成27年1月16日(金) 10:00~12:00
- ◆場所 四谷ひろば B館2階 コミュニティルーム1にて
- ◆参加者 新宿区危機管理課 係長ほか1名、四谷特別出張所担当
地域住民 11名 計14名

配布資料：第4回議事録、アンケート集計

10:05 開会

危機管理課係長 地域独自のこのような話し合いで、なおかつ継続して続けていることでとても良い集まりであると思う。ぜひ、今後も継続してください。楽しみにしています。

10:07 11/30 避難訓練・アンケートについて

避難訓練の際にとったアンケートを集計しました。あとから郵送で二枚送られてきました。内容的には読んでいただくとわかりますが、やはり、「数量が少ない」「トイレトペーパーやおむつ・生理用品などをよろしくお願ひ致します」というお願ひする意味が強いものが多くありました。自宅で備蓄はしていても、家を出されて避難所に来るような場合に避難所備蓄が配布されるのだということを理解してもらう周知活動がさらに必要。

避難所訓練に参加して

- ・町会の役員は町会の避難する割り当て部屋を理解しているが、一般の人は知らない。
⇒あまり、はっきりと「この場所です」と周知してしまうと、災害状況によって変わったりする可能性も高いので、逆に当日トラブルになりやすい。
⇒ルールはあっても、たたき台としてある分には手順がスムーズとなるが、流動的に考える必要がある。想定としては、①まずは入れる。②各室の安全性の調査をして、部屋の配分を見直ししてから、実際に部屋に案内をすることになるはず。特に、けが人や高齢者は別途考えていく必要がある。方針や決め方を想定し、避難所の立ち上げがスムーズに行えるようにしつつ、被害状況によってマニュアルどおりに進められない場合は、状況に応じて判断・行動する可能性も視野にいれておく。
- ・朝のテレビで阪神大震災の特集から、フランス人が自身の体験から、自主的にボランティアとして、対応策をアドバイスするなどしている。という放送を見た。この地域にも外国の方がいらしゃるので、そういった配慮も必要なのではないか。
⇒四谷ひろばとしても、大規模施設として、外国語の案内掲示を作成する予定。
- ・けが人・病人の対応
地域としては、四谷中に救護テントが用意されるが、応急救護レベルでしか対応はできないと思っていたほうがよい。きっと、ここには生き残った人がたどりつくという状況であろう。重病人が担ぎ込まれても対処はできない。地域の病院と契約を地域ができるということではなく、医師会の役割分担がある。

10:45 備蓄倉庫の配置について ※ホワイトボードに備蓄庫の間取図を記載、備蓄写真を貼った。

- ・投光機や発電機、ガソリン、ろうそく、電気リールは、すぐに必要なもので、入口右側に配置。その他、救急用具も手前にあったほうがよい。
- ・古い水については、奥に移動する。
- ・棚を入れた。
- ・卓球台を分解して、鉄は廃棄し、板を残している。町会ごとに掲示ができるようにするとか、ちゃんと各種掲示をパウチしたり、準備しておくことで、普段町会に関係のない避難者にも、避難所のルールがあることを知らせるようにしておくことも重要。
⇒レディス会の意見として、別途避難所管理運営協議会へ報告する。

11:30 茶話会 & 意見交換会

- ・卓球台を分解して、鉄は廃棄し、板を残した。町会ごとに掲示ができるようにしたい。
- ・一階南階段の左側の階段(グラウンドに抜ける)は、仮設トイレに行くのに使用することになるが、危ないので手すりが欲しい。
⇒夜は、仮設トイレが暗くて遠いので、室内のトイレが利用できる工夫も考えていく。
固めて使用する仮設トイレがないので欲しい。使い捨ては処分をするのが大変。
- ・ランプ坂が壊れると、建物とグラウンドへの通行ができない。地下の元昇降口を通ることも考えておく必要がある。昇降口やランプ坂、備蓄庫までの経路については、電池式で、感知式の電気が欲しい。とくに、備蓄庫までは常設で用意しておかないと、いざとなったときに、備蓄庫にたどりつけない。
- ・避難訓練のときに、講堂で、消防団所属メンバーによる身近なもので止血をするコーナーがあり、大変参考になった。身近なこともあり、三角巾で行う訓練よりも、参加者の意欲が高かったと思われる。
⇒自分たちのもっている情報を交換していくことが大事である。身近なことに目を向けて、意識をしていく。
⇒トイレにビニール袋をおいて使用すると、ビニール袋にトイレの溜まり水がついてぼたぼたするから、水を吸い上げておくという工夫があるといい。とか、震度5以上だと縦の配管ではヒビが入りやすい。水が出るからといって、トイレを使い続けるとヒビから汚物があふれることになるので要注意。など。
水電池 水に浸すと24時間連続して豆電球がつくという優れ物の紹介。防災用灯。単1位の大きさで四角いもの。インターネットで750円くらい。
ひろばでは、水にちょっとした塩を加えると使える懐中電灯を購入してみた。

12:00 閉会

【次回、レディス会 2月20日(金) 10:00~コミュニティ1にて】

次回テーマ：手身近なもので、応急救護をしてみよう 講師：消防団所属メンバー
各自用意するもの：レジ袋、靴下、ストッキング、手ぬぐい又はタオル

検討：2月28日の消防フェスティバルにレディス会も参加してはどうかという意見あり
消防署と避難所協議会との検討を要す。
内容としては、身近なもので応急救護のコーナーを持つてはどうか。